

## 南宮宇佐八幡 (なんぐううさはちまん) 神社 脇浜町2丁目



旧脇浜村の氏神で、祭神は応神天皇。もともと脇浜村には東に堂ノ川八幡、その100m西に南宮八幡の二つの八幡神社があったが、1932（昭和7）年に堂ノ川を南宮に合祀して、それ以後南宮宇佐八幡と称するようになった。現在の社殿はその時建てられたもの。なお、堂ノ川八幡のあった場所（脇浜町二丁目交差点南東角）には1937（昭和12）年12月に建てら

れた「宇佐八幡神社跡」の碑がある。

古老の言い伝えでは、楠木正成が足利尊氏追討のため湊川に向かう途中、この地に馬を留め、宇佐八幡宮を拝んだことから、後に村人が八幡社をここに勧進し、南宮は楠の木へんを後世落としてしまったものであるといわれている。

なお、阪神大震災で全壊した鳥居も、2000（平成12）年1月17日に再建された。



「宇佐八幡神社跡」の碑